

## 第 14 回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 8 年 2 月 13 日 (金曜)          午前 10 時 00 分 開会		
	休 憩 10 : 30-10 : 31    10 : 44-10 : 46    10 : 46-11 : 00		
	11 : 40-11 : 40		
	午前 11 時 47 分 閉会		
	休憩時間： 0 時間 17 分          会議時間： 1 時間 40 分		
	会議場所 役場 3 階委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 木村 淳彦	委員 伊藤 稔	
	副委員長 堀切 忠	委員 菊池 秀明	
	委員 正村紀美子	委員 鈴木 健充	
	委員 早苗 豊		
説 明 員	環境土木課長 橋本 直樹		
	道路公園管理係長 林 徹哉		
参 考 人			
欠 席 委 員 氏 名			
事務局職員	事務局長 安田敦史	総務係主査 大石真澄	
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項 ア 芽室町都市公園ストック再編計画 (案) について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 1-1, 1-2</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長：前回の委員会にて、資料の説明は終了していることから、本日は質疑からとする。質疑はないか。</li> <li>・菊池委員：計画策定により、公園維持管理費はどの程度圧縮できる見込みか。</li> <li>・環境土木課長：計画に定めた優先順位により整備を進める予定。維持管理費は、現行の 20% 減を目標とする。</li> <li>・堀切副委員長：アンケートの回答は web 又は電話だったが、電話回答の方はいたのか。</li> <li>・道路公園管理係長：5 件程度、電話で回答いただいた。</li> <li>・堀切副委員長：web 回答ができない方への対応として、回答手法を検討してはどうか。</li> <li>・環境土木課長：アンケート手法については、今後検討する。</li> </ul>			

- ・菊池委員：D 判定だと、「統廃合の検討」とあるが、統廃合を決定する具体的基準はどのようなものか。
- ・環境土木課長：統廃合の判断は、公園ごとに役割（一時避難先）を整理しながら行うことになる。D 判定の公園も、まずは緑地型へ変更し、将来的に統廃合を検討するが、今回の計画で廃止とはならない。
- ・堀切副委員長：アンケートの回答数が評価基準となるのはいかがなものか。高齢者はウェブに弱い傾向があり、現状に満足している方は、アンケートに回答しないこともある。
- ・道路公園管理係長：アンケート結果は、533 件のうち、50 代以上の回答が 300 件程度ある。高齢者の回答が少なかったとの認識はない。具体的な整備の際には、住民説明会を実施し、意見を聞きながら進める。
- ・正村委員：D 判定の定義を再度確認したい。
- ・環境土木課長：公園機能の統廃合は進めるが、公園の統廃合は実施しない。将来期には、統廃合を検討する。
- ・正村委員：D 判定の定義がわかりにくい。記述の変更を検討いただきたい。
- ・環境土木課長：検討する。
- ・正村委員：アンケートでは、遊具の改善要望が多い。しかし計画では、子供型 6 箇所、高齢者型 3 箇所となっている。町の方針としては理解するが、遊具改善を求める住民意見とどのように整合を取るのか。
- ・環境土木課長：アンケート結果、地区の人口構成から 5 タイプに分類した。整備を進める際は、住民意見を取り入れながら進める。
- ・正村委員：維持管理費 20% 削減との説明があったが、維持管理費削減の数値目標、スケジュールも明記すべきではないか。
- ・環境土木課長：計画期間は、R8-R16 まで。削減目標については、5 年ごとに目標設定が必要（交付金要件）であり、適宜、見直しながら進める。
- ・正村委員：地域の状況は数年単位で変化する。全体的な方針はよいが、個別具体的なものは、もっと短いスパンでの評価・見直しが必要では。事業費についても、明記すべき。
- ・道路公園管理係長：進捗に応じ、計画の中間見直しを予定している。事業費については、整備の優先順位は明記するが、事業費については予算担当と協議しながら、維持管理コストの低減も含め検討して進める。
- ・正村委員：スカイパーク再生基本計画とストック再編計画の関係性、位置づけはどうなるのか？ストック計画にスカイパーク再生基本計画は含まれるのか。
- ・環境土木課長：スカイパーク再生基本計画は、R8 からのストック再編計画に含まれる。
- ・正村委員：今回の資料（P22）では、ストック再編計画に盛り込まれていることが読み取れない。優先度もわからない。スカイパークについては事業費も概算額があるが、ストック再編計画は、事業費が見えない。ストック再編と再生基本計画の位置づけが分からない。
- ・課長：公園ストック再編計画には、現状の都市公園 52 か所+嵐山が含まれる。公園

ごとの計画は個別作成の予定。スカイパークは基本計画まで出来ているので、参考として添付したもの。

- ・正村委員：スカイパークは、具体的スケジュール、概算費用が出てきている。個別計画のほうが先行しているが、それでよいのか。
- ・環境土木課長：先に進んでいる個別計画をストック再編計画に融合した形である。
- ・菊池委員：スカイパークを都市公園に入れる理由、メリットを改めて確認したい。
- ・環境土木課長：新嵐山スカイパークは、都市公園としてストック再編計画の中に位置づける。しかし、スカイパークや芽室公園は、規模が大きいため、個別の基本構想・基本計画に沿って進めていく。他の公園とは取り扱いが異なる。
- ・伊藤委員：今後の維持管理について、計画に記載のように（P21）実施できる見込みがあるのか。
- ・環境土木課長：数年前から民間活力導入を検討している。民間でも人材不足があり、進んでいない。地域ボランティア活動など、検討したい。
- ・委員長：ほかにないか？
- ・（なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

#### イ 芽室公園再整備基本構想（案）について 資料 2-1, 2-2

- ・環境土木課長：概要について説明。
- ・道路公園管理係長：資料について説明。
- ・委員長：質疑はないか。
- ・早苗委員：花菖蒲園は、一時期しか花がない。長期間花が楽しめるよう、ガーデン的な位置づけにはならないのか。
- ・環境土木課長：菖蒲園は維持しつつ、年間楽しめるようなものを計画の中で考えたい
- ・伊藤委員：防災対策整備とあるが、どの程度の人が集まる想定か。
- ・環境土木課長：明確な人数の想定はない、今後、公園トイレの改修などを計画したい。
- ・菊池委員：多岐にわたる整備内容が掲げられているが、ストック計画では維持費20%削減との説明だった。そことの整合性はどうなるのか。
- ・環境土木課長：ストック計画での20%削減は、各公園の目標ではない。全体で20%の削減である。公園によって、投資が進むのも、縮減されるものがある。
- ・菊池委員：公園全体で20%削減ということか。
- ・環境土木課長：ご認識のとおり。
- ・正村委員：ワークショップ意見を参考に作られたとのことだが、整備計画策定時に、事業内容を整理するという理解でよいか。
- ・環境土木課長：ご認識のとおり。あったらよいものをすべて、構想に盛り込んだ。今後、基本計画段階で事業費、必要性等を整理していく。
- ・正村委員：構想は、公園整備の方向性を示すべきものと思う。町としての考えをもっと明確に示すべきではないか。
- ・環境土木課長：ワークショップでの意見を、町として精査し、構想としている。必要

性、重要度、事業費、維持管理費を整理して計画とする。

- ・正村委員：すべてを整備するには、多額の事業費が必要。町財政への影響が懸念される。どのように必要性を判断するのか。
- ・環境土木課長：基本計画段階では、再度、必要性、重要度、財源を加味しながら整理する。
- ・正村委員：都市公園として、交付金の対象となることを見込んでいるのか。
- ・環境土木課長：交付金の対象となるように整備していく考え。
- ・正村委員：Park-PFI が先行して進んでいるが、事業費が拡大することを懸念している。事業費に上限額をもって計画に進んでいく考えか。
- ・環境土木課長：Park-PFI の事業内容が正式に決定した後、連携して進めていく。Park-PFI 以外の事業費については、今後精査する。
- ・正村委員：まちなか再生についても記述があるが、具体的な取り組みはどのようにすすめるのか。
- ・環境土木課長：現行よりも魅力ある公園として整備し、多くの方に訪れてもらえることを目指す。駅前などの中心部への誘導については、計画段階で検討する。
- ・正村委員：公園の魅力だけを高めても、まちなかの整備も同時に進めなければ、まちなかのにぎわいは実現できない。他の計画、課との連携はどのように進めるのか
- ・環境土木課長：魅力創造課、商工労政課を含め、商工会、関係団体と連携して進める。
- ・委員長：ほかにないか。
- ・(なし)
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

・委員長：自由討議を行う。意見はないか？

#### 第 13 回総務経済常任委員会開催分

##### ア 町営牧場の統合について

- ・(なし)

##### イ 地域集会施設の管理業務について

- ・正村委員：使用料を見直し、民間事業者が管理するなら、地域集会施設ではなく、貸館である。管理方法の変更は、地域集会施設の位置づけに反する。再整備計画では、地域と協議しながら、統廃合を進める方針が示されていた。耐震性の無い施設があるなか、管理方式だけを変更していくのは、順序が違う。  
管理人不足が課題とされていたが、9のうち7施設は管理人がいる。現行で管理できている7施設にまで民間管理を導入してしまうと、住民の「自分たちの施設」との認識が薄れ、地域コミュニティの弱体化・崩壊につながる。町は、管理方法を変更することの影響認識を改めるべき。3月議会での大きな論点になると考える。

#### 第 14 回総務経済常任委員会開催分

##### ア 芽室町都市公園ストック再編計画（案）について

・(なし)

イ 芽室公園再整備基本構想(案)について

・正村：整備内容が多岐にわたる。全てを整備することはないとの答弁があったが、総事業費が不明である。交付金を理由に事業費が拡大することは、本来の趣旨に反する。将来見通しも甘いと感じた。Park-PFI とその他の事業を合算しないと、芽室公園全体の事業費が把握できないため、一体での整理が必要。町の財政状況を鑑み、負担可能かどうかの検証が未了のまま、進んでいくことに不安を感じる。引き続き、計画について注視し、継続的な調査が必要。

・委員長：地域集会施設の管理業務については、3月議会で提案がある。各自、どのような対応とするか検討してほしい。

・委員長：芽室公園再整備基本構想(案)については、まちなか再生事業を含め、継続調査事項とする。

・委員長：以上で自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

正副一任

(2) その他

・委員長：「その他」で各委員からないか？

・(なし)

・委員長：議長からないか？

・(なし)

・委員長：事務局からないか？

・(なし)

以上をもって、総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	1名	報道関係者	2名	議員	0名	合計	3名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和8年2月13日

総務経済常任委員会委員長 木村 淳彦

議長	副議長	局長	係長	主査	作成者氏名 大石 真澄